

第 6 回 JAT 新人翻訳者コンテスト 英日部門

課題文

今年の夏は、日本の各地で雨が続きました。

8 月 10 日前後に日本に接近した台風 9 号では、兵庫県や岡山県で死者 22 人などの被害が出、その 3 週間前の中国・九州北部地方の記録的な集中豪雨では、山口県防府市の特別養護老人ホームが土石流に巻き込まれて入所者 7 人が亡くなりました。さらに 1 時間に 100 ミリに達するような猛烈な雨が、日本のあちこちで頻繁に降るようになっています。

高齢化が急速に進んでいる日本では、山口でのように、高齢者などが災害の犠牲となるケースがますます増えると予想されます。そこで他の国々が「災害弱者」についてどのような備えを推奨しているか、調べてみました。

以下の文章を訳してください（題名と著者名も含む）。

Hurricane Preparedness for the Elderly

by: **Mary D. Davis**

It is that time of year again to prepare for hurricane season. One area of hurricane preparedness that many people forget about is how to care for the elderly in the hurricane season.

Elderly are very uncertain of changes and last year during Hurricane Ike in 2008, many elderly were very confused during the power outages and the lack of services that were not available. One way to help you with caring for your elder during a storm is to be prepared.

Here are some helpful hints for you to consider:

1. Stock up on incontinent supplies such as adult diapers, baby wipes (you can use these for yourself too), gloves, and other personal care supplies.
2. Have a month's supply of your elder's medications on hand.
3. Be sure to have a lantern type light and batteries. These lights provide more room lighting like they are used to having and they don't have to carry them in their hands which may interfere with canes and walkers.
4. Buy some Ensure or other type of dietary supplement. These are great because they are non-perishable and provide a lot of vitamins which they may need due to the extra stress of the situation.
5. Register your elder with the local authorities. For example, in the Houston, TX area there is a Houston-Harris County 211 Special Needs Transportation Registry. Call the specified phone number to register your elder. This service is designed so the Officials know about the special needs of your elder and can provide assistance if needed. Many areas of the country have these types of registries.
6. Locate businesses your elder may need during an emergency (such as dialysis treatment centers, oxygen supply companies, etc) and find out their emergency plan if they have no power to serve your elder. You want to have a back up plan.

7. Remember that power scooters and wheelchairs need power to operate so you may want to get a back up regular wheelchair for your elder.
8. Don't forget some form of entrainment such as cards or board games. These are a great way to occupy your elder so they forget about the storm for a while.
9. Of course the items listed above are in addition to your regular hurricane supplies such as food, water, batteries, flashlights, battery operated radio or TV, cash, first aid kit, and other essential items that your family may need during a storm.

Always remember that your elder may be confused during times that are out of the ordinary. Hurricanes certainly can be classified as not normal. Be compassionate and understanding that they too are disoriented by not having any electricity and are confused by the raging storm. Be sure to include them in any updates that you have about the storm so they know what is happening. Keep in mind your elder is just as interested in the information that is coming out on the radio as you are.

With the proper planning, a hurricane can be a little easier for you and your elder.

最終候補作品

最終審査に進んだ 5 作品です (#91, #114, #140, #141, #161)。

応募番号 91 番

高齢者を守るハリケーンへの備え
メアリー・D・デイビス著

ハリケーンシーズンに備える季節が再びやってきた。ハリケーンに備えるにあたって多くの人々が忘れがちなことの一つに、高齢者への対処をどのようにするかという問題がある。

高齢者は起こっている変化をはっきりと知ることができず、昨年、2008 年にハリケーン「アイク」が発生した際、たくさん的高齢者が電力供給の停止や利用可能な公共サービスの欠如のために困惑した。ハリケーン発生時に身近な高齢者を保護するのに役立つ方法の一つは、備えをしておくことである。

以下に、役立つ手引きをいくつか挙げてみる。

1. 大人用おむつなどのサニタリー用品、乳児用ウェットティッシュ（自分自身が使用することもできる）、手袋、必要な場合には介護用品などを用意しておく。
2. 高齢者がいつも服用している薬を一か月分手元に持ち合わせておく。
3. ランタン型ライトと予備電池を確保しておく。ランタン型ライトは停電前と同じ明るさで部屋を照らし、手で持たなくてもよいため杖や歩行器を妨げる恐れがない。
4. エンシュア（缶入りの栄養補助食品）などの栄養補助食品を購入しておく。このような食品は保存がきき、状況による余分なストレスのために必要となるビタミンを多く含んでいる。
5. 地方自治体に高齢者の情報を登録しておく。例えば、テキサス州ヒューストンは、「ハリス郡ヒューストン 211 特別支援交通登録所」(Houston-Harris County 211 Special Needs Transportation Registry)を設置している。記載された番号 (211) に電話をして、高齢者の情報を登録する。これは当局者が特別なニーズを知り、必要とあれば援助を提供することを目的としたサービスである。国内の多くの地域で

このような登録所が設置されている。

6. 緊急時に高齢者のために必要となる施設（透析医療センターや酸素供給会社など）の場所を確認し、緊急時の対策がどのようなもので、自分の身近な高齢者が受け入れてもらえるかどうかを調べておく。予備の計画は立てておいたほうが望ましい。

7. 電動スクーターや電動車いすは稼動するのに電力を必要とするということに留意し、高齢者のために予備の手動車いすを用意しておくことよい。

8. トランプやボードゲームなどの気晴らしの道具を忘れない。このようなゲームは高齢者を夢中にさせ、暴風雨のことを一時忘れさせるのに非常に役に立つ。

言うまでもなく、上記に挙げた項目は、食料、水、電池、懐中電灯、電池式のラジオやテレビ、現金、応急処置セット、家族が災害時に必要とするものなど、日頃のハリケーン対策の備蓄に追加するものである。

常に忘れてはいけないことは、高齢者は普段と異なる状況に当惑する可能性があるということである。ハリケーンは間違いなく普通の状況ではないと言える。電気がないことに混乱し、荒れ狂う暴風雨に困惑するのは高齢者も同じであるため、思いやりと理解をもって接してあげること。暴風雨に関するどのような最新情報でも知らせることで、高齢者は何が起きているのか知ることができる。彼らも私たちと同様、ラジオから伝わる情報に関心をよせているということをお忘れにならない。

しっかりとした準備があれば、私たちにとっても高齢者にとってもハリケーンの恐怖は少し弱まるかもしれない。

応募番号 114 番

ハリケーン対策におけるお年寄りのケア
メアリー・D・デイヴィス

今年もまたハリケーン・シーズンに備える時期となりました。ハリケーン対策のうち、ハリケーン・シーズンにお年寄りをどうやってケアするかということは、忘れられがちです。

お年寄りには変化に大変不安を抱きます。昨年 2008 年のハリケーン・アイク上陸時に停電や公共サービスの停止が起こった際には、多くのお年寄りが大いに戸惑いました。事前に備えておくことが、嵐の間お年寄りを介助・介護するうえでの一助となります。

以下に参考となるヒントを記します。

1. 大人用オムツ、赤ちゃんのおしり拭き（あなた自身のためにも役立ちます）、介護用手袋などの失禁対策用品を買い備えておくこと。
2. お年寄りが服用している医薬品を 1 か月分手元に用意しておくこと。
3. ランタン型ライトと電池を確保しておくこと。この種の明かりはお年寄りが慣れ親しんでいる室内照明に近いので、手に持って運ばなくてよいため、杖や歩行器の妨げになりません。
4. エンシュア社製やその他の種類の栄養補給食品を買い備えておくこと。これらが便利なのは、日持ちが

するし、重いストレスがかかる状況下で必要とされる豊富なビタミンの供給源となるためです。

5. 地方自治体にお年寄りを登録しておくこと。例えば、テキサス州ヒューストンではヒューストン・ハリス郡 211 特別支援移送登録という制度があります。決められた番号に電話を掛け、お年寄り登録してください。このサービスは当局が特別な支援の必要なお年寄りを事前に認識しておくことで、必要時に援助ができるよう制定されました。国内の多くの地域でこのような登録システムが整備されています。
6. 緊急時にお年寄りが必要とするような事業所（透析治療センターや酸素供給会社など）の所在地を見つけておき、その事業所がお年寄りを救う力を失った場合の緊急プランを確認しておくこと。代替プランを考えておいた方がよいでしょう。
7. 電動カートや電動車いすは、動かすのに電力が必要であることを忘れてはいけません。そのため、予備として手動の車いすをお年寄りのために準備しておいた方がよいかもしれません。
8. トランプやボード・ゲームのような、娯楽の類（たぐい）も忘れてはなりません。それらに熱中することで、お年寄りにはしばらくの間嵐について忘れることができるからです。

もちろん、上記のアイテムは食料、水、電池、懐中電灯、電池式のラジオあるいはテレビ、現金、救急箱などの、あなたの家族が嵐の間に必要とする通常のハリケーン対策必需品に加えて備えておくものです。

お年寄りが日常から離れた状況に混乱するというのを、常に覚えておいて下さい。ハリケーンは明らかに通常ではない状況と言えます。お年寄りもまた、停電に狼狽し、荒れ狂う嵐に混乱するというのに、思いやりと理解を示さなければなりません。お年寄りにも知っている限りの最新のハリケーン情報を教えるようにして下さい。そうすることで彼らも何が起きているかを知ることになります。お年寄りもあなたと同じように、ラジオから流れる情報に関心を持っているということを心に留めておいて下さい。

あなたの、そしてお年寄りのハリケーンへの不安は、適切な準備をすることで少し軽減することができるのです。

応募番号 140 番

高齢者のためのハリケーン対策
メアリー・D・デーヴィス

ハリケーンの時節に備えるいつもの時期がまたやって来た。ハリケーン対策の一環として忘れがちなのが、高齢者への支援方法である。

高齢者は変化を予期することが不得手であり、昨 2008 年のハリケーン・アイクの時には、停電や公共サービス停止により非常に混乱した人達が多かった。嵐の時に身近な高齢者の世話を容易にする方法の一つは、事前に準備しておくことである。

考慮すべき点をいくつかあげよう。

1. 大人用おむつ等の排泄処理用品、ウェットティッシュ（これは自分でも使える）、手袋、その他身の回りのケア用品を蓄えておくこと。
2. 1か月分の常用薬を持ち合せておくこと。
3. ランタン型のライトと電池を必ず用意すること。これは日頃慣れている明るさと同じ程度の室内照明となり、また手に持つ必要がないため、杖や歩行器の邪魔にならない。
4. 「Ensure」等の栄養補助食品を買っておくこと。これが良いのは、長期保存が可能であることと、非常にストレスの強い状況で必要となるビタミンを大量に摂取することができるからである。
5. 身近な高齢者の名前を地元の役所に登録しておくこと。例えばテキサス州ヒューストン地区には「ヒューストン・ハリス郡 211 特別搬送者登録制度」があり、これに登録するには所定の番号へ電話しておけばよい。このサービスは、役所が高齢者の特殊ニーズを把握し、必要な時に支援することができるように作られたものである。同様の登録制度は国内の多くの地域で設けられている。
6. 非常時に必要となる可能性のあるサービス提供者（透析センターや酸素提供者等）の場所を把握し、停電で対応できない時の非常時対策を確認しておく。これにはバックアップ対応が必要である。
7. 電動スクーターや車椅子には電気が必要であることを認識しておくこと。バックアップとして通常の車椅子を用意しておくことよい。
8. トランプやボードゲームのような娯楽用品を忘れずに。ゲームは没頭するのに良い手段で、しばし嵐のことを忘れさせてくれる。

もちろんここに挙げたのは、通常のハリケーン対策備品（食料品、水、電池、懐中電灯、電池で作動するラジオまたはテレビ、現金、救急用医薬品セット、その他嵐の時に自分達が特に必要な物）に加えてさらに用意すべき物である。

高齢者は、平常でない状況の時に混乱する可能性があることを常に念頭におくこと。ハリケーンはまさに平常以外に属する状況である。思いやりを持ち、高齢者もまた停電であれば平静を失い、荒れ狂う嵐により困惑することを理解すること。また最新のハリケーン情報は必ず伝え、現に起きていることがわかるようにすること。自分と全く同様に、高齢者もラジオから流れる情報には興味があることを認識しておく必要がある。

適切な準備をしておけば、自分にとっても身近な高齢者にとっても、ハリケーンは少し気楽なものになるはずである。

応募番号 141 番

ハリケーン時の高齢者対策について メアリ.D. デイビス

今年もハリケーンシーズンに備える時期になりました。ハリケーン対策のうち多くの人がおろそかにしているのが、シーズン中の高齢者ケアに関する部分です。

高齢になると状況の変化がなかなか飲み込めないもので、昨 2008 年に到来したハリケーン・アイクの際には停電や様々なサービスが使えず不十分な状態の間、ひどく混乱した高齢者が多く見られました。嵐の間高齢のご家族をケアする時に役立つ方法の一つは、備えておくことです。

検討に役立つヒントをいくつか紹介しましょう。

1. 成人用おむつ、赤ちゃん用おしりふき（赤ちゃん以外にも使えます）、グローブ等の排泄用品、その他家庭介護用品の備蓄。
2. 高齢のご家族の常備薬 1 か月分の用意。
3. 照明器具は必ずランタン型で電池とともに用意すること。ランタン型の照明は普段の室内照明よりも明るく、手に持たなくてもよいので杖や歩行器を使うときの邪魔になりません。
4. エンシュアなどの栄養補助食品の購入。こうした食品が非常に優れている点は、腐らないこと、ハリケーンによる極度のストレスのため大量に必要なビタミンを摂取できることです。
5. 高齢のご家族を地方自治体に登録。テキサス州ヒューストンの例をあげると、ハリス郡ヒューストン 211 特別移送支援登録制度（211 Special Needs Transportation Registry）というものがあります。指定された番号に電話をかけて高齢のご家族を登録しましょう。この制度は、当局が高齢のご家族が特別に必要とする支援を把握し、必要に応じて援助できるよう作られています。国内の多くの地域にこのような登録制度があります。
6. 緊急時に高齢のご家族が必要な可能性のある施設（透析治療センターや酸素供給会社など）を探しておき、その施設がご家族を受け入れ不能になった場合にどのような緊急対応策を用意しているか確かめること。予備案も用意しておくべきです。
7. 電動スクーターや電動車いすは作動に電力が必要なことを踏まえ、予備の普通の車いすも高齢のご家族用に備えておくとい良いでしょう。
8. トランプやボードゲームのような娯楽になるものも忘れずに。高齢のご家族が夢中になりしばらくの間嵐を忘れてしまえる、気の利いた方法です。

当然のことながら、以上の品目は通常のハリケーン備品に加えて用意するものです。通常の備品とは食品、水、電池、懐中電灯、携帯ラジオまたはテレビ、現金、救急用品セット、その他嵐の間家族が使うと思われる必需品です。

高齢のご家族は、いつもと同じ状態にない間は頭が混乱している可能性があることを常に念頭に置きましょう。ハリケーンは紛れもなく普通の状態ではありません。高齢のご家族も停電に途方に暮れ、吹き荒れる嵐に頭が混乱していることを思いやり、理解しましょう。嵐について得た最新情報は必ず伝え、高齢者も状況を把握できるようにしましょう。ラジオから流れる情報に、高齢のご家族もまったく同様に關心があることを忘れないようにして下さい。

適切な事前対策は、ハリケーン時家族と高齢者にかかる負担を多少とも和らげてくれるでしょう。

応募番号 161 番

高齢者のためのハリケーン対策

メアリー・D・デイヴィス

ハリケーン・シーズンに備える時期がまたやってきた。ハリケーン対策として忘れがちな分野が、ハリケーン・シーズン中の高齢者のケアだ。

高齢者は状況の変化に非常に戸惑うものだ。昨年、2008年ハリケーン・アイクが襲った時期、停電が起り、水道やガスなども寸断されて不通であった際には、ひどく狼狽した高齢者が多かった。荒天時に高齢の家族を世話するあなたの負担を軽くする方法として、事前の準備が挙げられる。

以下の心得は役立つので検討してもらいたい。

1. 成人用オムツ、赤ちゃん用の使い捨てペーパータオル(これは自分でも使える)、手袋、その他の介護用品など、下の処理のための品々を買いだめしておく。
2. 高齢の家族の一月分の薬を手元に置いておく。
3. ランタンのような照明具とバッテリーを必ず用意する。こうした照明具のほうが、高齢者が使い慣れた室内照明に似ているうえ、持ち運ぶ必要がないため、杖や歩行補助器の邪魔にもならない。
4. 「エンシュア」のような栄養補助食品をいくらか購入する。こうした食品は、腐らないうえ、常よりも大きなストレスのかかる状況下にある高齢者に必要と思われる各種ビタミンも豊富な点が優れている。
5. 高齢の家族を地元当局に登録する。たとえばテキサス地域のヒューストンには、ハリス郡ヒューストン 211 特別支援輸送登録制度がある。指定の番号に電話して高齢者を登録しておくものだ。これは、高齢者の要する特別支援を当局が把握し、必要に応じて援助してくれるサービスだ。アメリカには同様の登録制度を持つ地域が多数ある。
6. 緊急時に高齢の家族が必要とするかもしれない機関・会社(透析治療センターや酸素供給機器の取扱会社など)の所在と、その機関が高齢者を助ける力がない場合には、どういった緊急時対策を立てているかを確認する。代替策がなければならない。
7. 電動スクーターや電動車椅子は動力として電気が要するため、高齢の家族には予備の普通の車椅子が入用になるかもしれないことを銘記する。
8. トランプやボードゲームといった類の娯楽を忘れてはならない。高齢の家族の關心を引くのにつけて、しばらくの間は悪天候のことを忘れていられる。

もちろん上に列記した項目は、家族が荒天時に必要とするであろう食料、水、バッテリー、懐中電灯、電池式のラジオまたはテレビ、現金、救急セット、その他のハリケーン対策の必需品に加えて、ということだ。

常に頭に入れておくべきなのが、高齢の家族は非日常的な状況下では混乱するだろうということだ。ハリケーンは明らかに非常事態に分類される。電気がまったくないことで普段の判断力をなくしたり、ひどい悪天候のせいで混乱するのは高齢者も同様だという、思いやりと理解の心を持つこと。荒天に関して新しい情報を伝える際には必ず高齢者も加え、何が起きているのかが高齢者にもわかるようにすること。高齢者もあなたと同様に、ラジオから流れる情報に関心を持っていることを忘れてはならない。

適切な対策を立てておけば、ハリケーンは、あなたにとっても高齢者にとっても少しは楽なものになり得るのだ。

審査結果

英日部門には 37 人の応募がありました。応募して下さった皆様には心からお礼を申し上げます。厳正な審査の結果、以下の 5 人が最終選考に残りました（敬称略）。

No. 91 Naoko Kagiya
No.114 Fumiko Uchiyama
No.140 Ichiro Shirakawa
No.141 Kim Younghee
No.161 Yukiko Oda

さらに最終審査の結果、入賞者が次のように決定しました。

第 1 位 No.140 Ichiro Shirakawa
第 2 位 No.141 Kim Younghee

選ばれた方も、惜しくも選外となられた方も、ぜひ原文とご自分の翻訳をもう一度見直して、翻訳力向上の一助にいただければ幸いです。

コンテスト実行委員
井隼 眞奈子
チャールズ・アッシュマン

審査講評

佐藤綾子審査員

参加者の皆様、おつかれさまでした。そして上位入賞の方々、おめでとうございます。

今回の課題文は、前回より身近な問題を扱っており、訳しやすい文章だと思われましたが、それでも皆様が共通してはまってしまった「トラップ」がいくつかありました。以下、いくつか選んで順番にみていきます（他の審査員お二人のコメントと一部重複するかもしれませんが）。

翻訳前の調査には、次のようなサイトが参考となるでしょう。

災害看護 役立ちマニュアル：高齢者編「高齢者に必要な災害への備えと対処」

http://www.coe-cnas.jp/group_senior/manual/manual01/index.html

- “Here are some helpful hints for you to consider”

その前の文章“... is to be prepared.”とうまくつなげて訳せるかどうかポイント。

訳例：「高齢のご家族の介護に備えて、暴風雨対策をしておくのも良いかもしれません。その際は、以下のヒントをお役立てください。」

- “... during the power outages and the lack of services that were not available.”

“services”は公共サービス、あるいは utility（水道やガス）とは限らない。通信、医療、交通、保育・介護関連、店舗開業、商品配達、ごみ収集、郵便なども考えられる。

- 項目 1 “Stock up on incontinent supplies such as diapers, baby wipes...,”

“such as”がどこまでさすのかは、2通りに解釈できる。第1に、おしめ以外の「パンツやパッド」が省略されている（“incontinent supplies such as adult diapers (+ pants + pads)”という解釈（近所のドラッグストアの介護用品コーナーをチェックしました）。もう1つは、お尻ふきや手袋も含んだ “such as diapers + baby wipes + gloves”という解釈（これらも介護用品コーナーに並んでいた）。また gloves は、介護の業界では「グローブ」とカタカナで使う例もあるようだが、一般にはまだ野球やボクシングで使うものを連想するのではないか？

- 項目 1 “...and other personal care supplies”

“personal + care supplies(個人用介護用品)”とも解釈できるが、ここは“personal care +supplies”（パーソナルケア製品＝ヘアケア、オーラルケア、スキンケア、オーラルケアなど、体の手入れのために用いられる製品一般）ではないか。ただし Google で画像検索をすると、いずれも似たようなものが出てくる。

- 項目 3 “These lights provide more room lighting like they are used to...,”

“more...like”「ランタン型は、一点を照らす懐中電灯より広い範囲を照らすので、いつもの照明の状態に近い」ということ。キャンプに持っていくようなランタンでは「通常より明るく」はならないと思う。

- 項目 5 “Your elder”

頻出するが、一々訳さなくても、文脈からわかる場合もある。

- 項目 5 “Houston , TX...Houston-Harris County 211 Special Needs Transportation Registry.”

テキサス__州__のハリス郡のなかにヒューストン__市__がある（呼び方や並べ方が不自然な人がいた。日本語では通常「東京都渋谷区・・・」のように列挙する）。“Special Needs Transportation” は、ワシントン州の法律では次のように定義されている： People with special transportation needs are defined in state law as people, including their attendants, who because of physical or mental disability, income status, or age, are unable to transport themselves or purchase transportation. [47.06B.012 RCW]. “Transport”は

英語ではヒトにもモノにも使うが、日本語の「輸送」や「搬送」は主にモノが対象である。交通分野でヒトを集合的に扱う際に「輸送（例：大量輸送機関）」、医療や介護の世界では自力で動けないヒトを運ぶのに「搬送（例：重傷者の搬送）」を使うが、いずれもヒトをひとりの人間として扱わない場合のような気がする。ちなみに日本には「災害時要援護者登録制度」がある。

- 項目 6 “businesses...if they have no power...”

ここでは「ビジネス」は適当ではない。“power”は「力」と解釈していた人が多かったが、ここは「電気」。透析時の停電対策例はこちら。 <http://202.216.128.227/透析百科/25.03.htm>

- “Always remember that your... that are out of the ordinary. Hurricanes certainly can be classified as not normal.”

この2つの文章は、たとえば“out of the ordinary”と “not normal”を「非常時」で統一して、「忘れてはならないのは、非常時には高齢者は混乱しがちだという点だ。そしてハリケーンはまさに『非常時』だといえるだろう」などと訳すと、すらすらと読める。

次に、個別に簡単にコメントさせていただきます。

No.91

題名の訳「高齢者を守るハリケーンへの備え」が一読して意味不明で（高齢者を守るハリケーン+への備え？）、「ハリケーンシーズンに備える季節が再びやってきた」では「シーズン」と「季節」が同語反復なので、出だしでかなりの減点となってしまいました。その他にも誤訳や不自然な表記や表現が見受けられました。「このような食品は保存がきき・・・」は、適切な表現だったと思います。

No.114

項目 1 で解釈のちがいによる訳抜け (“and other personal care supplies”) があつたのと、「お年寄り」とそれに対応する文体の使い方、項目 6 の「お年寄りを救う力を失った場合」、あるいは項目 8 の「予備として手動の車いすをお年寄りのために準備しておいた方がよいかもしれません」という冗長表現などが減点対象となりました。項目 3 （「・・・慣れ親しんでいる室内照明に近いえ」）の訳し方は、5人の中で一番よかったと思います。

No.161

項目 1 の「下の処理」は確かにそうなのですが、もう少しオブラートにくるんだような表現が使えないかと思いました。全体を「である」体で簡潔にまとめたのはよいのですが、どこか命令口調（「上から目線」？）で、これを読んだ人が共感して「ぜひ対策を立てよう！」という気にならないのではと思いました。“Battery”は、私は「電池」を考えてしまいますが、「電池」と「バッテリー」の使い分けはどうか（分野によって異なるでしょうが）。

No.141

項目 3 と 6 の誤訳（「～よりも明るい」、「受け入れ不能」）、もう一工夫すべき表現（「不十分な状態の間」、「必ずランタン型で」、「作動に電力が必要」、「気のきいた方法」、「ハリケーン備品」、「まったく同様に関心がある」、「多少とも和らげて」）がありましたが、文章は読みやすかったです。

No.140

誤訳（「明るさと同じ程度」）も、もう一工夫すべき表現（「考慮すべき点」、「世話を容易にする」、「これ」の多用、「身近な高齢者」、「情報には興味がある」、「ハリケーンは少し気楽なものになるはずである」）も多々あったものの、項目6で唯一「停電」と解釈できていたことなど、減点が他より僅差で少なく、1位となりました。

ここまでお読み下さった皆様（コンテストへの参加の有無に関わらず）、課題文の分析やコメントを、今後に役立てていただければ幸いです。他人の訳文を批判するのは簡単ですが、いざ自分で訳してみると、大変です（自戒を込めて）。

石原ゆかり審査員

応募者の皆さん、お疲れ様でした。上位に選出された方々、おめでとうございます。

今回の課題文は「災害」と「高齢者」という身近なテーマであり、文章も平易であると感じた方が多かったのではないのでしょうか。それを反映してか、最終選考対象の5作品いずれも大きな誤訳もなく全体的に良く訳されていたと思います。ただ、用語選択、文法、表現など、細かな点を見ると1位の作品を含め、「詰めが甘い」印象を受けました。プロとして通用するには、原文に忠実に訳すように心がけるのはもちろんのこと、細かな点をきちんと押さえ、丁寧に訳す技術力が必要です。ポイントを以下にまとめてみました。

リサーチ：原文を正確に理解するためにはリサーチは欠かせません。プロの翻訳者は翻訳作業の多くをリサーチに費やします。「Hurricane Ike」や防災対策関連について調査されましたか？「Houston-Harris County 211...」のホームページはご覧になりましたか？インターネット、検索エンジンは翻訳者の強い味方。「incontinent supplies」、「lantern type light」、「oxygen supply companies」、「power scooter」など、字面だけで訳したり、辞書で引いたりするのみでなく、実際どんなものを指すのか、実際の製品や例を探してみてください。「Ensure」は社名ではないこと、また、「Locate businesses...」の「businesses」はどのように訳すべきなのかが明確になることでしょう。「Houston」、「TX」は、この場合は「地区」ではありませんよね。

文法・作文力：特に日本語ネイティブの方、日本語の文法や文章力向上にも力を入れてください。もし、この文章を日本語で書き直してみるとしたら、どのように表現されますか？何かへん、これって直訳？と思ったら、いったん翻訳から離れて自分の言葉で言い換えてみてください。自然な表現が生まれてきます。「～への対処をどのようにするか」、「停止が起こった」、「備蓄に追加する」、また、(この文脈で)「「関心を引く」、「を銘記する」という表現は普段お使いになりますか？

語調・レジスター：特にビジネス文書を翻訳する場合、文脈や対象読者、目的にふさわしい語調が求められます。今回の課題文は、名前から著者が女性であること（一概に言えない場合もありますが）、対象読者は一般大衆、目的はアドバイスであることが分かり、親しみやすい語調が適切だと思います。「もらいたい」は書き手の方が読み手よりも上であるかのような印象を与えます。また、「お年寄り」と敬称を使った場合は尊敬表現を使用するのが一般的でしょう。「～してあげる」、「彼ら」などの表現は、この文章のテーマである「elders」に対し配慮に欠けています。翻訳者の前に書き手として、意図的でなくとも読み手の感情を傷つけてしまう表現を決して使用しないよう、細心の注意を払う必要があります。

想像：課題文は表現が豊かな文章で、状況が目には浮かんで来ませんか？翻訳者としてではなく、まず一読者として原文を読み、自分がその立場になったときのことを想像してみてください。「very uncertain of changes」とはどのような状況なのでしょう。柔らかい赤ちゃんのお尻を拭くのに使うのは「ペーパータオル」でしょうか。「ランタン型の照明」は「室内照明よりも明るく」というと少々無理がある気がします。「medications」を「常備薬」とすると、処方されている薬だから簡単には手に入らないから困るのだ、という著者の意図があまり伝わってきません。

目的や場所、比較の対象が曖昧：「記載された」、「新しい情報を伝える際」、「高齢のご家族もまったく同様に」は、それぞれ、「どこに記載?」、「誰に伝える?」、「誰と同様?」と疑問に思いました。原文を読むと「記載」の場所は明らかではなく、「指定」といった場所を特定しない表現が適切で、「新しい情報を伝える際」は「～にも伝える」などとした方が高齢者以外の対象を特定する必要がなくなります。「高齢のご家族もまったく同様に」は、「you」を訳した方が著者の意図がはっきりすると思います。

一貫表現、重複表現：「storm」と「hurricane」、「ordinary」と「normal」など、原文では違う言葉が使ってあっても日本語では同じ言葉を使った方が効果的な場合もあります。また、特に箇条書きの場合は語尾を統一すると（「用意。」「用意すること。」）読みやすくなります。逆に「支援」と「援助」、「季節」と「シーズン」と日本語では違う言葉でも同じような意味なので、1つの文で同時に出てくると重複している印象を受けました。

「支援 xx」：「Special Needs Transportation」は、日本語では「支援 xx」よりは「xx 支援」の方が自然です。こうした複合語で構成される名称などの場合は必ずしも原文の語順どおりにしなくてもよいのです。

体裁、表記：91番は行間が原文と大きく異なるため、大きな減点とはしなかったものの第一印象で損をしました。実務では原文と同様の体裁を求められることも多く、基本的な書式設定などができると良いでしょう。「類（たぐい）」は括弧で読みを付けるのであれば、他の表現を使った方がよいかもしれません。「メアリ.D.～」と名前にピリオドを付けるのは一般的ではありません。通常は、中点もしくは中黒（・）を付けるか、もしくは何も付けません。

今後の参考にしていただければ幸いです。次回もぜひ挑戦してください！

千栴靖審査員

まずは、コンテストに応募された皆様、本当にお疲れ様でした。

評価には昨年同様の減点制を採用しています。減点法の根拠、方法については前年のコメントを参照してください。減点法なので悪い所ばかりをあげつらう形になり、「褒められて伸びるタイプ」の方には向いていない方法かもしれませんが、御容赦ください。今年は非常に接戦でした。順位はつけていますが、非常に僅差ですので、1位を逃した方もあまりがっかりしないでください。

翻訳業では語学力、専門分野の知識の他にも他の職業と同様に社会人としての常識も必要になります。例えば、「ですます」調と「である」調のどちらを選択するかは、この常識が物をいう場合があります。

また、数多い選択肢から訳語を選ぶ場合も、常識を働かせることで適切な訳語が選択できる場合があることも皆さん経験されていると思います。しかし、今回読ませて頂いた訳文では、「正確に翻訳するんだ！」ということに固執しすぎて、「この状況でこんな表現、普通日本語で使うだろうか？」と常識を働かせることを忘れてしまい減点された例が多数見受けられます。一生懸命翻訳した直後は頭が固まっているので、しばらく時間をおいてから、常識を働かせて自分の翻訳を読んでください。すると翻訳作業中には気づかない「変な日本語」を「普通の日本語」に修正できる場合があります。それでは皆さんが共通で減点されている箇所が数カ所あるので、まずはそこからコメントしていきたいと思います。

「ハリケーンシーズン/の季節 + 季節/時期」：見事に全員トートロジー（同義語重複）に陥っています。これは「原文に忠実な直訳」のままではまずい場合もあるという好例です。

「incontinent supplies such as」：「such as」がどこまで含めるのかで解釈が分かれています、片方が完全に間違っていると言い切れない面が残るため評価対象から外しています。ただし、「incontinent supplies」「adult diapers」「baby wipes」「gloves」の訳語については、リサーチ力の見せどころということで評価対象としましたが、残念ながら全員どこかで減点となりました。詳細は、個別のコメントを参照してください。

「they have no power」：「power」はどうしても「パワー」とカタカナで頭の中に入って来るので誤訳しがちです。今回ここで間違った皆さんは、ある意味ラッキーです。今回間違えたことが記憶に残って今後は間違えないと思います。

「more room lighting」：この「more」を訳出できている人はいませんでした。「more」があつて「than」がなければ、何と比較しているのかと疑問を持って欲しかったです。

言葉足らずの印象を与える言い回し：「必要となる（誰に？）」「伝え（誰に？）」「同様に（何と）」「加え（何に）」など完全な意味を連想できるものの日本語での補語が欲しいと読者に感じさせる言い回しが共通してみられました。このような場合、補語を補って解決する場合がありますが、補うことでかえって冗長な印象を与える場合もあります。後者の場合は、他の言い方や文章構造を工夫する必要があります。

それでは以下、個別コメントに移ります。ワードチョイスの減点にはその根拠をつけていませんが、皆さん自分で考えてみてください。

91 番

「接してあげる」「知らせてあげる」という表現は、どのような含意を持つでしょうか。文法的に問題ないという意見もあるかもしれませんが、世間一般でこの表現がどのような印象を与えるかをリサーチしてください。また、国語辞書の解説も読んでください。さらに、「高齢者への対処をどのようにするか」とありますが、高齢者は「対処」すべき「問題」であると作者は述べているのでしょうか。高齢者への「care」について語る文章で、これらの表現がふさわしいかを再考してください。「同じ明るさ」「受け入れてもらえるか」は誤訳です。「必要な場合には」は、原文にありません。「記載された」は意味不明です。「交通登録所」「サニタリー用品」「公共サービス」「保護する」「備蓄に追加」などは、不適切なワードチョイスとして減点しました。

114 番

まず気になるのは「お年寄り」。「お年寄り」という言葉は、使用する状況や文体が限定され、この訳文中でもなじんでいないように感じます。「あなた」も違和感があり、一工夫欲しいところです。「救う力を失った」は誤訳です。「日常から離れた状況」は、もう少しこなれた表現が望まれます。「エンシュア社」「ヒューストン・ハリス郡」は、リサーチ不足。「赤ちゃんのおしり拭き」もリサーチすると「赤ちゃんのおしりふき」（「ふき」はひらがな）という商品がでてきました。注意してください。例えば、「courier」などは「宅急便」（ヤマト運輸の商品名）ではなく「宅配便」などと訳す必要があります。少なくとも産業翻訳では、商品名に関しては常に NHK 並みに注意しましょう。ワードチョイスに問題があるのは、「公共サービス」「介助・介護する」「制定されました」などです。

140 番

「予期することが不得手」「考慮すべき点」は、誤訳（超訳？）です。また「考慮すべき点をいくつかあげよう。」の一文は、文章の流れを止めてしまっているように感じました。「排泄処理用品」「ウェットティッシュ」は、もう一度リサーチしてください。「自分」および「これ」は、常にとは限りませんが使い方によってはレジスターが低くなるので注意してください。「Locate businesses your elder...」の文章には、「サービス提供者」「酸素提供者」「バックアップ対応」とこなれていない表現が集中しています。「没頭するのに良い手段」は唐突な印象があり、強いて「没頭」を使うとしても「嵐のことを忘れて没頭するには良い手段」の方が読み易い通常の日本語の語順ではないでしょうか。「平常でない状況の時」は、冗長表現と感じます（「非常時」で十分では？）。「少し気楽なもの」「支援方法」、「公共サービス」、「地区」は、ワードチョイスの問題として減点しました。

141 番

明らかな誤訳は、「よりも明るく」、「受け入れ不能」の 2 カ所です。「いつもと同じ状態にない」は冗長に感じます。「常備薬」「部分」「グローブ」「ハリケーン備品」「気の利いた」は、ワードチョイスの問題として減点しました。「ハリケーン時家族」は「ハリケーン時に家族」と助詞を入れたほうがすっきりすると思います。

161 番

まず気になるのが「XX だ」「XX しておくものだ」などの強い断定的な文体です。減点法での翻訳評価の基準には、原文から乖離している度合い（誤訳など）やターゲット言語での完成度以外にもどれだけ修正に手間がかかるかという基準があります。文体の修正は、一括変換というわけにはいかず、非常に時間と手間がかかるので、大きな減点につながります。簡潔にまとめようという努力が実っている表現もあるので、もったいない文体の選択だったと思います。またこの文体で「あなた」を使用すると、高圧的にさえ感じます。「助ける力がない」は誤訳です。「銘記する」は、意味不明です。「下の処理」は、異なる意味でも使用されるので避けた方が良いでしょう。不適切な表現、ワードチョイスの問題として減点したのは、「ペーパータオル」「買いため」「バッテリー」「テキサス地域」「頭に入れておくべき」などです。

以上、批判ばかりで申し訳ありませんが、少しでもお役にたてば幸いです。このコンテストでの努力を糧に、皆様の 2010 年の飛躍をお祈りいたします。